

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボー・キッズ・クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和6年12月14日		令和6年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動と個別活動を組合せ1時間のプログラムにすることで子どもが楽しく集中して様々な活動の経験ができること。	リトミック、絵本の読み聞かせ、運動あそび、個々に合わせた机上での活動を10分～15分で活動を切り替えることで集中を維持したまま楽しく様々な経験ができるようにしている。	活動のペースは変えずに飽きないようにアレンジしたり、お子様の発達や特性に合わせた内容になるよう変更や修正をし、楽しく効果的に療育がおこなえるようにしていく。
2	保護者の方との情報共有。	お子様の活動の様子を写真とともに保護者の方に毎回報告し、(できた事、できなかったが支援によりできた事、支援方法等)お子様の課題について常に情報共有できるようにしている。またアプリや電話等のツールを使用し気軽に相談ができる環境をつくり保護者の方も安心して利用していただけるよう心掛けている。	仕事等でご多忙な保護者の方にも負担にならないよう配慮したうえで定期的に事業所から関わりをもちお子様についての情報共有や相談ができる環境を作っていく。
3	職員の資質向上を図るためeラーニングで研修できる環境を整えている。	職員全員が月に一度事業所で決めた資質向上に必要な研修を受講する機会を設けている他に、隙間時間を利用し1本3分程度の必要な研修をいつでも自ら選んで視聴できる環境を作っている。	研修を通して学んだことを活かせる機会を作り職員の成功体験へとつなげ学ぶ事への意欲を高めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等の参加できる研修の機会や保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベントを設けることができなかったこと。	お子様の特性を踏まえたかかわり方に関して知るよう支援の場面の観察等の機会は提供したが、ペアレント・トレーニング等の研修の機会を設ける事ができなかった。また保護者同士の交流の機会やきょうだいの方が参加できるイベントを開催することができなかった。	ペアレント・トレーニングはおこなうことができなかった。今後の課題として検討していきたい。また保護者同士が気軽に日々の悩みを話せる交流の機会をどのようにすれば開催できるかを検討していく必要がある。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流やその他地域で他のこどもと活動する機会を頻繁に設ける事ができなかったこと。	弊社の企業主導型保育園と「消防車救急車見学」「芋ほり」等の行事で年2回ほど交流する機会を設けたが頻繁に交流することはなかった。	地域のこどもと交流することができる環境にある為計画的に機会を増やしていく。
3	非常災害の発生に備えた訓練を毎月おこなっているが、保護者の方に対して十分な報告ができていなかったこと。	日々の報告は療育の様子が中心になっていたため、非常災害の発生に備えた訓練を実施しても十分な報告ができていなかった。	日々の報告の中で非常災害に備えた訓練を実施した場合保護者の方に報告していく。